

平成 25 年 2 月 1 日

各 位

会社名 株式会社 エーワン 精密
 代表者名 代表取締役社長 林 哲也
 (JASDAQ・コード 6156)
 問合せ先
 役職・氏名：代表取締役社長 林 哲也
 電 話：042-363-1039

平成 25 年 6 月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 8 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 6 月期 個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期 (累計) (平成 24 年 7 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,083	335	342	213	円 銭 142.06
今回修正 (B)	893	198	212	129	86.21
増減額 (B-A)	△ 190	△ 136	△ 129	△ 83	
増 減 率	△ 17.6%	△ 40.7%	△ 37.9%	△ 39.3%	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 6 月期第 2 四半期)	918	236	256	142	94.98

(注) 当社は平成 24 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき普通株式 100 株の割合で、株式分割を行っております。前期第 2 四半期 1 株当たり四半期純利益の金額は、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 修正理由

昨年後半は欧州の経済低迷と米国の景気回復ペースの遅さなどで新興国の輸出が鈍化し、新興国自体も経済成長率が低下傾向となり世界的に製造業における機械稼働率が落ち込みました。また、日中関係に関しては領土問題を端緒に中国において日本製品の買い控えが起き、日本の量産部品加工などもその影響を受け受注量が減少しました。当社の量産品に係わる工具を製造しているコレットチャック部門では受注が当初予定に比べ落ち込みが大きくなり、また切削工具部門でも当初予定に比べて伸び率が鈍化し緩やかな売上の伸びにとどまりました。その結果、当社全体の売上高も平成 24 年 8 月 10 日公表の数字を 17.6% 下回ったため当社の第 2 四半期の業績予想を下方修正いたします。

製造原価、販売費及び一般管理費等コスト面での当初予定との乖離は僅少であり、利益率の低下は売上高の減少による固定費比率の上昇が主因であります。

(3) 通期 (平成 24 年 7 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	2,150	635	651	397	円 銭 265.33
今回修正 (B)	1,900	497	518	318	212.13
増減額 (B-A)	△ 250	△ 138	△ 133	△ 79	
増減率	△ 11.6%	△ 21.7%	△ 20.4%	△ 20.0%	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 6 月期)	1,876	484	513	284	189.96

(注) 当社は平成24年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で、株式分割を行っております。前期の1株当たり当期純利益の金額は、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(4) 修正の理由

今後については世界的に景気に対する不安要因が残っており予断を許さない状況であり、下期についても現状と同様な動きをするものと判断し、通期業績予想も併せて下方修正いたします。

2. 配当予想修正

上記に伴い、当初、当期の年間配当金の予想を80円(年間配当金80円)と発表しておりましたが、今回65円(年間配当金65円)と修正させていただきます。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 24 年 8 月 10 日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 80.00	円 銭 80.00
今回修正予想	—	0.00	—	65.00	65.00
当期実績	—	0.00	—		
前期 (平成 24 年 6 月期) 実績	—	0.00	—	7,000.00	7,000.00

(注) 当社は平成24年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で、株式分割を行っております。そのため上記の平成24年6月期の配当金額は、当該株式分割前のものを記載しております。

以 上